

スターバト・マーテル ヴァイオリンパート 演奏にあたってのお願い

高い音には音名を書き込みましょう。

フレーズの最後の音の長さに細心の注意をお願いします。オケの音より歌が長い(残る)箇所があります。

以下の表は、定演でカットしたのものも含めて、Vnが目立つ(家で練習すべき)箇所や注意事項をまとめてあります。

定演でカットしたところに、今のうちに音を確認しておくといいい箇所があります。

全曲(ボーイング付)を回覧しますので、写しておいてください。フィンガリングは参考です。丸で囲った Sp や Alto は歌が出る箇所(数えるのに便利)や聴いて合わせる注意すべき箇所を示しています。I, II, III, IVは弦(E, A, D, G)を、V は半音を意味します。CORO は合唱。

パート	小節番号 練習番号	注意事項
-----	--------------	------

I. QUARTTETTO E CORO (第1曲目 四重唱と合唱)

VnI, II	227 ~ 234	最初はユニゾン、途中からオクターヴです。ヴィオラはセカンドのオクターヴ下。下から支えてください。
---------	-----------	--------------------------------------------------

II. QUARTTETTO (第2曲目 四重唱)

VnI	A ~ 65	最初5小節はヴィオラと同じ音型、37小節から4小節間、16分音符は歌の8分音符を追い越さないように。
VnI, II	37 ~ 43	フレーズの終わりは8分音符。歌は4譜音符ですので、短めに！！
VnI	63 ~ 64	Vnが裸になるところです。しっかり音を取ってください。63小節1拍目の裏のAを2で取るのがお奨め。
VnI, II	111 ~ 112	ソプラノとユニゾン、決して追い越さないで。小節を跨ぐところで歌はプレスします。先に出ないように。
VnI	130 ~ 136	ソプラノとユニゾン、音量より美しい音を！
VnI	155 ~ 159	取りにくい音です。
VnII	161	クラリネットとユニゾンですが、他に音はフルトとオーボエしかありません。ヴィオラにつなげるクレッシェンドを。

III. CORO (第3曲目 合唱)

VnI, II		合唱がないところをしっかりと弾くように心がけてください。
VnI	A ~ 52	ソプラノとユニゾン。
VnI, II	92 ~ 104	とにかく美しく！決して「マンチック」にならず、清楚に！セカンドがソプラノとユニゾン、ファーストはオクターヴ上。

IV. BASSO SOLO E CORO (第4曲目 バス独唱と合唱)

VnI, II	86 ~ 87	分散和音、ファーストは頭から、セカンドは16分休符の後にスタートします。
VnI, II	110 ~ 125	117小節からの32分音符の音型は、最初の音を弾いたら2個目の音は軽く収める。 Poco piu mosso 初めてテンポがアップする箇所、不安を掻き立てるように弾きましょう。

V. CORO (第5曲目 合唱)

VnI, II		Andante con moto, quasi allegretto = 動きのあるアンダンテで、ほとんどアレグレット 6/8のリズミカルな曲であることを忘れずに。
VnI, II	27 ~ 36	オクターヴで上昇するフレーズです。しっかり音を取ってください。

VI. TENORE SOLO E CORO (第6曲目 テノール独唱と合唱)

VnI, II		全曲中最大の難所があります。定演では1箇所ですが、7月には難所をたくさん弾きますよ！
VnI, II	25 ~ 32	セカンドがオクターヴ下を弾きますので頼りにしていますよ！ 男声合唱の4分音符に合わせます。
VnI, II	42 ~ 50	同上。44小節でセカンドはファーストより1拍後に出ます。
VnI	54 ~ 65	最初の4小節はファーストだけ。しかもテノール独唱が4分音符を歌いますので、合わせなければなりません。
VnI	85 ~ 89	ここもファーストだけ。

VII. CORO (第7曲目 合唱)

VnI, II		横に広がる感じでリラックスして弾きましょう。
	55	練習番号 A' を記入してください。
VnI, II	27 ~ 36	オクターヴで上昇するフレーズです。しっかり音を取ってください。

VIII. DUO (第8曲目 デュオ (ソプラノとテノール))

VnI, II		ファースト:五線を越える箇所はとにかく美しく！ セカンド:オクターヴ下で支えてください。 ここもロマンティックにならないように、陶醉しないように！
VnI	27, 32	8分音符をしっかり弾きましょう。
VnI	32 ~ 33	弓の返しですが、オモテとウラをずらしてください。
VnI, II	85 ~ 90	中弓で軽く飛ばしてください。

IX. ALTO SOLO (第9曲目 アルト独唱)		
VnI, II		ヘンデルの影響を受けた曲です。セカンド、チェロ・バスの8分音符、フォルテは引きずらないように。 パート同士弾き方をそろえましょう。ピアノは中弓で軽く飛ばして。
VnI	冒頭	8分音符のアウフタクトは速く長い弓で。
VnI, II	A	Aのアウフタクト、定演では16分音符を8分音符に書き換えてください。

X. QUARTTETTO E CORO (第10曲目 四重唱と合唱)		
VnI, II	70 ~ 154	Allegro molto = 急に速くなりますの、対応できるようにしましょう。
VnI	185 ~ 216	とにかく美しく！ 清楚に！ 天国の扉が開く音楽ですから、ロマンティックにならないように！ ポルタメントは極力控えてください。ヴィブラートも少なめ。
VnII	199 ~ 200	同上。入りを間違えないように！
	212 ~ 213	同上。入りを間違えないように！